

リストNo		04-031	施設コード	01715	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		相津マリーナ			
所在(町名・番地)		天竜区相津85-2			
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	天竜区・まちづくり推進課		課長名	佐々木 豊
設置根拠(法)		－			
条例		浜松市天竜相津マリーナ条例			
設置目的		船明ダム湖面の安全な観光利用を図るため。			
主な利用者		カヌー愛好者 小中高校生の課外活動 その他一般の観光客			
運営形態		指定管理者			
指定管理または 包括管理委託等の期間		2024/04/01 ～			
管理者名		株式会社杉の里・有限会社天龍遊船共同事業体			
開館時間		8:30 ～ 日没まで			
建物情報	総延床面積	322.86	土地情報	土地面積	2,157.45
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	542.26
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	－		うち借地面積	1,615.19
	建築年月日(主要建物)	1984/8/1			
	経過年数(主要建物)	39		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		65,146	－	65,146	
財源	国・県	15,000	－	15,000	
	寄付金	－	－	－	
	その他	－	－	－	
	市債	30,000	－	30,000	
	一般財源	20,146	－	20,146	
特記事項	－				



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	70	488
	国県支出金	0	0
	その他収入	154	99
	収入計(A)	224	587
支出(千円)	人件費	3,864	4,028
	物件費(委託料)	199	197
	維持補修費(修繕費)	222	505
	物件費(光熱水費)	442	490
	物件費(借地料)	627	671
支出計(B)		5,354	5,524
行政コスト(B-A)		5,130	5,304
収支前年比		96.72	106.06
(参考)指定管理料		5,039	5,095
(参考)減価償却費		0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	110	751
	開館日数/年	34	317
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	5,790	0	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	浜松市相津マリーナ艇庫外壁及び屋根修繕工事	4,166			
2019	浜松市天竜相津マリーナ管理事務所外壁及び屋根改修工事	4,675			
2018	浜松市天竜相津マリーナ管理事務所浄化槽設置工事	12,540			
2015	舟艇揚降クレーン更新工事	5,184			

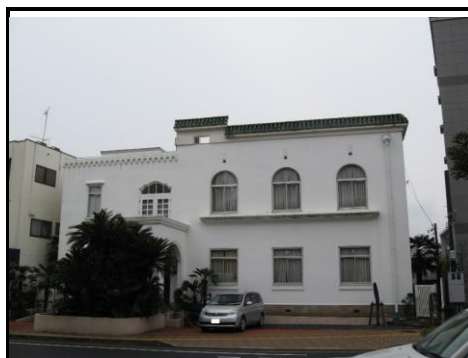
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	14-107	天竜第7分団相津	コミュニティ 0.4
	05-032	伊砂ボートパーク艇庫	地域 0.8
	05-024	天竜ボート場艇庫	地域 0.8
	05-027	天竜林業体育館	地域 0.8
	16-007	天竜自然体験センター湖畔の家	市域 0.9
	25-024	旧月簡易水道	— 1.1



基本情報	リストNo	04-031	施設コード	01715	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	相津マリーナ			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		船明ダム湖面の安全な観光利用を図るため。							
		主な業務内容	○カヌーの貸出し・保管　○カヌー教室の開催　○ダム湖面の安全管理						
		主な利用者	カヌー愛好者　小中高校生の課外活動　その他一般の観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	アウトドアツーリズム需要は堅調に推移すると見込まれる。						
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	春を呼ぶ集い(1回)			2023	32	—	70
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
2022						—	—	—	
2021						—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	管理事務所及び艇庫の劣化が目立ったため、計画的な修繕を実施した。一定規模の修繕については指定管理者負担で行ってもらっているものの、大規模な改修や設備更新については市で実施する必要がある。県補助金等により建設した施設。							
	対応策	計画的に建物の修繕(平成30年度管理事務所浄化槽設置工事、令和元年度管理事務所屋根及び外壁塗装工事、令和2年度艇庫の屋根及び外壁改修工事)を実施した。建物の維持管理を行いつつ、突発的な緊急修繕にも対応していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	指定管理者制度導入済み								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	15,889	16,428	15,490	1人当たりのコスト(円)	46,636	7,063	8,239
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	150,882	16,732	17,068
	1日当たり利用者(人)	3	2	2	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況・前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	相津マリナーナは、平成28年度から指定管理により天竜ポート場・湖畔の家・林業体育館と一体管理を実施しており、運営の効率化を図っている。現在の指定管理による運営により、適切な維持管理を実施していく。							

リストNo		04-033	施設コード		04327	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		旧浜松銀行協会				
所在(町名・番地)		中央区栄町3-1				
利用者の圏域別分類等		文化財		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課			課長名	鈴木 三男
	施設	市民部創造都市・文化振興課			課長名	鈴木 三男
設置根拠(法)		—				
条例		浜松市旧浜松銀行協会条例				
設置目的		市指定有形文化財である歴史的建造物の保存及び活用についての市民意識の高揚を図るとともに、郷土ゆかりの映画監督木下恵介に関する資料の展示施設及び文化芸術活動の拠点施設として市民の文化の向上を図る。(浜松市旧浜松銀行協会条例第1条)				
主な利用者		木下作品のファン、近隣の小学生等				
運営形態		指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間		2023/04/01 ～				
管理者名		浜松創造都市協議会・東海ビル管理グループ				
開館時間		9:00 ～ 17:00				
建物情報	総延床面積	566.47		土地情報	土地面積	564.71
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	564.71
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.83				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1930/4/30				
	経過年数(主要建物)	94			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		近隣商業地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	1,238	588	677
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	231	206	184
	収入計(A)	1,469	794	861
支出 (千円)	人件費	11,116	10,582	10,060
	物件費(委託料)	1,392	1,392	1,447
	維持補修費(修繕費)	14	0	35
	物件費(光熱水費)	612	697	618
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	13,134	12,671	12,160
行政コスト(B-A)		11,665	11,877	11,299
収支前年比		98.22	105.12	108.56
(参考)指定管理料		14,360	14,300	14,300
(参考)減価償却費		2,039	2,039	2,039
利用 状況	利用コマ数/年	1,447	738	992
	利用可能コマ数/年	4,736	7,696	7,580
	施設利用者数/年	6,242	5,241	4,615
	開館日数/年	296	296	296
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	47,135	63,219	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2018	旧浜松銀行協会塀改修工事	5,908			
	2009	改修工事	26,784			

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	04-014	浜松復興記念館	地域	0.2
	04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.8
	04-009	美術館	市域	0.8
	04-013	賀茂真淵記念館	地域	0.9
	04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.2
	04-002	アクティビティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	1.3
	04-008	浜松科学館	市域	1.4
	04-016	厚ヶ崖資料館	地域	1.7
その他の分類	03-008	鴨江アートセンター	地域	0.1
	22-004	夜間救急室	市域	0.3
	15-004	西小学校	生活	0.4
	19-002	ザザシティ駐車場	地域	0.4
	07-001	浜松こども館	市域	0.5
	01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域	0.5
	14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.5
	06-001	中央図書館	市域	0.6

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	04-033	施設コード	04327	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課		
	施設名	旧浜松銀行協会			所管課	施設	市民部創造都市・文化振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市指定有形文化財である歴史的建造物の保存及び活用についての市民意識の高揚を図るとともに、郷土ゆかりの映画監督木下恵介に関する資料の展示施設及び文化芸術活動の拠点施設として市民の文化の向上を図る。(浜松市旧浜松銀行協会条例第1条)							
		主な業務内容	展示業務、貸し館業務、上映会等開催業務						
		主な利用者	木下作品のファン、近隣の小学生等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子高齢化が進んでおり、ニーズは変化していく可能性がある。						
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	展示事業		2023	—	—	1,387	
				2022	—	—	1,283		
				2021	—	—	1,106		
		事業②	上映会事業・毎月いずれか1日(1日2回上映)開催、年間24回	2023	—	960	873		
2022				—	960	767			
2021				—	960	738			
事業③		出張上映会・6回実施	2023	—	—	190			
			2022	—	—	171			
			2021	—	—	140			
事業④		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建造から長期間が経過し、雨水染み込みのための壁面や天井の剥離、建具の建て付けの不良が目立つ。							
	対応策	文化財(浜松市指定文化財)を活用した施設のため修繕に制限があるが、状態を確認しながら慎重に修繕等を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	歴史的建造物の保存・利用について館の市民周知、郷土ゆかりの映画監督木下恵介の魅力を発信する事業の充実などソフト事業について、民間活力の活用を基本に進める。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	20,592	20,967	19,946	1人当たりのコスト(円)	1,869	2,266	2,448
	施設利用率(%)	30.6	9.6	13.1	1開館日当たりのコスト(円)	39,409	40,125	37,916
	1日当たり利用者(人)	21	18	15	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価		
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)	

参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

文化財として、当面適切な維持管理に努める。

リストNo		04-034		施設コード		02880		
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設						
施設名		蜷塚遺跡						
所在(町名・番地)		中央区蜷塚四丁目19544						
利用者の圏域別分類等		文化財			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	市民部博物館			課長名	鈴木 一有		
	施設	市民部博物館			課長名	鈴木 一有		
設置根拠(法)		—						
条例		—						
設置目的		国指定史跡の蜷塚遺跡を保存し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため						
主な利用者		市民・児童生徒・観光客						
運営形態		直営						
指定管理または 包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	553.47		土地情報	土地面積	21,483.00		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	12,588.00		
	地上階数(主要建物)	2				うち借地面積	8,895.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—						
	耐震工事(主要建物)	-						
	建築年月日(主要建物)	1964/3/1						
	経過年数(主要建物)	60		代表地目(現況地目)	公園			
用途地域		第一種中高層住居専用地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	人件費、清掃業務、警備業務、光熱水費、借地料は博物館で一括計上。							



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	3,685	2,035	0
	その他収入	33	34	0
	収入計(A)	3,718	2,069	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	2,944	2,805	0
	維持補修費(修繕費)	1,154	1,427	3,071
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	4,098	4,232	3,071
行政コスト(B-A)		380	2,163	3,071
収支前年比		17.57	70.43	124.03
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		20	537	537
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	404,860	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	令和元年度 蜷塚公園復元家屋一号棟改修工事	8,943			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
	04-010	博物館	市域
	04-035	旧高山家	文化財
	04-016	犀ヶ崖資料館	地域
	04-013	賀茂真淵記念館	地域
	04-009	美術館	市域
	04-015	茶室「松韻亭」	地域
	04-001	浜松城公園天守閣	広域
その他の分類	16-001	看護専門学校	市域
	22-001	浜松医療センター	広域
	15-109	蜷塚中学校	生活
	13-018	蜷塚団地	地域
	24-003	鴨江雨水調整池	—
	15-099	佐鳴台中学校	生活
	07-009	さなる放課後児童会	生活
	26-007	御前谷ポンプ場	—



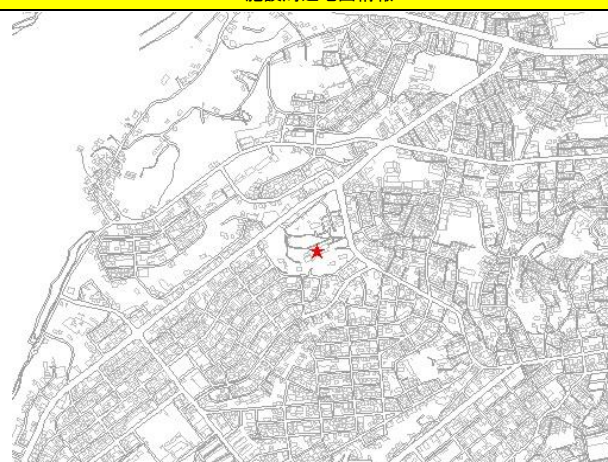
基本情報	リストNo	04-034	施設コード	02880	所管課	本庁	市民部博物館		
	施設名	蜷塚遺跡			施設	市民部博物館			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		国指定史跡の蜷塚遺跡を保存し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため							
		主な業務内容	縄文時代の復元家屋や貝塚展示施設を利用した歴史教育、GW・夏休み・冬休み・春休み体験館						
		主な利用者	市民・児童生徒・観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	多くの見学者があり需用は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も多くの利用が予想される。							
	特記事項	文化遺産継承に必要な不可欠な遺跡公園(国指定史跡)							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	小中学校連携事業			2023	—	不特定	2,651
						2022	—	不特定	3,111
					2021	—	不特定	4,741	
事業②		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	蜷塚遺跡は史跡整備開始から60年が経過し、新しい研究成果の反映が期待されている。							
	対応策	令和3年度に策定した「史跡蜷塚遺跡保存活用計画」に基づいて、史跡蜷塚遺跡の再整備を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	○	—	—	別館と第4収蔵庫は老朽化により廃止する。			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	博物館との一体的な再整備として、事業手法を検討している。								

	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
参考指標	行政コスト/面積(円)	687	3,908	5,549	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	指定管理	(2)改修・更新時	検討中	(3)その他	—	—
令和3年度に策定した史跡縄塚遺跡保存活用計画に基づいて、史跡縄塚遺跡の再整備を行う。								

リストNo		04-035	施設コード		00533	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		旧高山家				
所在(町名・番地)		中央区蛸塚四丁目22-1				
利用者の圏域別分類等		文化財		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	市民部博物館			課長名	鈴木 一有
	施設	市民部博物館			課長名	鈴木 一有
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		教育、学術及び文化の発展に寄与するため				
主な利用者		市民・児童生徒・観光客				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		9:00 ～ 16:30				
建物情報	総延床面積	58.00		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1980/3/1				
	経過年数(主要建物)	44			代表地目(現況地目)	
用途地域		第一種中高層住居専用地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	歳出、歳入は博物館で一括計上。					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	4
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	4
	行政コスト(B-A)	0	0	4
収支前年比		—	0.00	13.5
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	0	0		—

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2015	西面茅葺き屋根改修工事	3,564			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	04-010	博物館	市域	0.0		
	04-034	蜷塚遺跡	文化財	0.0		
	04-016	犀ヶ崖資料館	地域	1.6		
	04-013	賀茂真淵記念館	地域	1.7		
	04-009	美術館	市域	1.9		
	04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.9		
	04-001	浜松城公園天守閣	広域	2.0		
そ の 他 の 分 類	16-001	看護専門学校	市域	0.4		
	22-001	浜松医療センター	広域	0.4		
	15-109	蜷塚中学校	生活	0.5		
	13-018	蜷塚団地	地域	0.7		
	24-003	鴨江雨水調整池	—	0.8		
	15-099	佐鳴台中学校	生活	0.8		
	07-009	さなる放課後児童会	生活	0.9		
	26-007	御前谷ポンプ場	—	0.9		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-035	施設コード	00533	所管課	本庁	市民部博物館		
	施設名	旧高山家			施設	市民部博物館			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため							
		主な業務内容	古民家としての文化財保護と展示、かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし、昔のくらし体験館						
		主な利用者	市民・児童生徒・観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の見学者があり需用は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も小中学校を中心に多くの利用が予想される。						
	特記事項	文化遺産継承に必要不可欠な建物							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	昔ばなしを聞く会			2023	—	不特定	222
						2022	—	不特定	211
						2021	—	不特定	143
		事業②	小中学校連携事業			2023	—	不特定	2,652
						2022	—	不特定	3,117
						2021	—	不特定	4,746
		事業③	—			2023	—	—	—
2022						—	—	—	
2021						—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物の老朽化等により修繕が必要な箇所が増加している。							
	対応策	かや葺き屋根の葺き替え修繕を主として計画的に修繕を実施する。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	蛸塚遺跡公園内の構成要素の一つとして、再整備の中で事業手法を検討している。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	759	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
文化財として、適切な保存に努める。								

リストNo	04-036		施設コード	01198	
利用用途別分類（施設分類）	文化・観光施設				
施設名	重要文化財中村家住宅				
所在（町名・番地）	中央区雄踏町宇布見4912-1				
利用者の圏域別分類等	文化財		非中山間地域		
財産区分	行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	市民部文化財課		課長名	平田 隆
	施設	中央区・西行政センター		課長名	渡辺 貴史
設置根拠（法）	—				
条例	重要文化財中村家住宅条例				
設置目的	重要文化財中村家住宅という歴史的遺産の保存と活用を図り、文化に関する知識を深めるとともに、文化の向上及び発展に資することを目的とする。（重要文化財中村家住宅条例第1条）				
主な利用者	観光客、学生、建築関係者、学識経験者				
運営形態	直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間	～				
管理者名	—				
開館時間	9:30 ～ 16:30				
建物情報	総延床面積	428.21	土地情報	土地面積	3,757.72
	構造（主要建物）	木造		うち所有面積	3,757.72
	地上階数（主要建物）	1			
	耐震性能（1g値）（主要建物）	新			
	耐震工事（主要建物）	—			
	建築年月日（主要建物）	2000/2/2			
	経過年数（主要建物）	24		代表地目（現況地目）	宅地
用途地域	第二種中高層住居専用地域				
区分	建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費	222,700	—		222,700	
財源	国・県	148,465	—		148,465
	寄付金	—	—		—
	その他	—	—		—
	市債	—	—		—
	一般財源	74,235	—		74,235
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	202	196	124
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	21	19	6
	収入計（A）	223	215	130
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	1,392	1,359	1,194
	維持補修費（修繕費）	227	2,071	140
	物件費（光熱水費）	155	161	155
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	1,774	3,591	1,489
	行政コスト（B－A）	1,551	3,376	1,359
収支前年比		45.94	248.42	91.76
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		180	225	7,823
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	2,506	2,589	1,309
	開館日数/年	163	168	167
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	122,889	2,959	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2018	鉄筋コンクリート組立塙撤去改修工事	8,046			
	2014	消防ポンプ更新工事	3,697			
	2003	解体修理、茅葺屋根葺き替え	222,700			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	13-038	領家団地	地域		0.3	
	06-009	雄踏図書館	地域		0.3	
	15-122	雄踏中学校	生活		0.3	
	18-005	旧雄踏総合事務所別館	地域		0.4	
	16-004	外国人学習支援センター	市域		0.4	
	03-011	雄踏文化センター	地域		0.5	
	07-034	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活		0.5	
	15-047	雄踏小学校	生活		0.5	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-036	施設コード	01198	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	重要文化財中村家住宅			施設	中央区・西行政センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	感動ある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		重要文化財中村家住宅という歴史的遺産の保存と活用を図り、文化に関する知識を深めるとともに、文化の向上及び発展に資することを目的とする。(重要文化財中村家住宅条例第1条)					
		主な業務内容	中村家住宅の公開、資料の収集・保管及び展示				
		主な利用者	観光客、学生、建築関係者、学識経験者				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の来館者はあり、需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	横ばい				
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	家康公ゆかりの中村家住宅に立ち寄って観るのじゃ!	2023	750	—	1,015
				2022	450	—	722
				2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
2022				—	—	—	
2021				—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	2022		—	—	—		
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	来館者は観覧料が減免される幼稚園児、小中学生及び70歳以上の高齢者の来館が半数近くを占めており、観覧料収入の増加が課題となっている。ハード面では、大規模解体修理工事後20年が経過しており、経年劣化による施設の老朽化が進んでいる。特に主屋の茅葺屋根の葺き替えが今後の大きな課題である。					
	対応策	施設を広くPRすることで、観光客等の来館を促し観覧客数の増加を目指す。また地域文化の振興に関する交流の場としても活用を図っていく。経年劣化による施設の不具合については、重要性、危険度合等を考慮し計画的に修繕を行っていく。主屋の茅葺屋根の葺き替えについては適切に対処していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	現段階で民活導入は難しいと考える。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,622	7,884	3,174	1人当たりのコスト(円)	619	1,304	1,038
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	9,515	20,095	8,138
	1日当たり利用者(人)	15	15	8	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。						
	利用用途別分類毎の方向性	館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	文化財として、適切な保存に努める。							

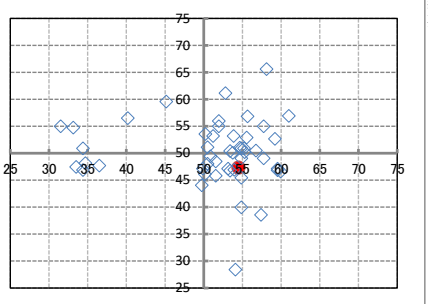
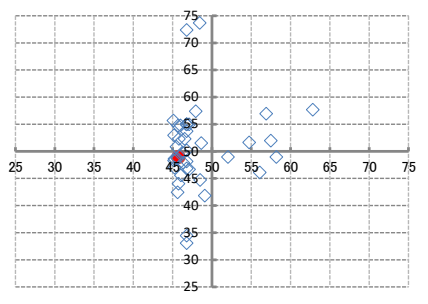
リストNo		04-037	施設コード	02453	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		舞坂宿脇本陣			
所在(町名・番地)		中央区舞坂町舞坂2091			
利用者の圏域別分類等		文化財		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部文化財課		課長名	平田 隆
	施設	中央区・西行政センター		課長名	渡辺 貴史
設置根拠(法)		なし			
条例		浜松市舞坂宿脇本陣条例			
設置目的		復元した脇本陣を公開し、舞坂宿に関する資料の保存と活用を図り、地方文化の発展に資するため(浜松市舞坂宿脇本陣条例第1条)			
主な利用者		観光客			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 16:00			
建物情報	総延床面積	337.97	土地情報	土地面積	770.57
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	770.57
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1997/3/21			
	経過年数(主要建物)	27		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		宅地	
用途地域		近隣商業地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		271,505	—	271,505	
財源	国・県	85,200	—	85,200	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	186,305	—	186,305	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2	4	2
	収入計（A）	2	4	2
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	303	303	303
	維持補修費（修繕費）	517	64	348
	物件費（光熱水費）	143	144	127
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	963	511	778
行政コスト（B－A）		961	507	776
収支前年比		189.55	65.34	121.63
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		725	725	725
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	4,700	3,812	3,563
	開館日数/年	309	308	308
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	34,288	7,279	—	

	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な 改修 履歴	1996	脇本陣復元工事	271,505			
近隣施設						
同分 類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
	04-046	弁天島駅観光案内所			小規模等	0.9
	04-017	渚園			地域	1.5
その 他 の 分 類	14-054	浜松第43分団			コミュニティ	0.1
	12-007	水産物荷捌所			小規模等	0.2
	07-037	舞阪なかよし放課後児童会			生活	0.3
	15-046	舞阪小学校			生活	0.3
	01-015	舞阪支所			地域	0.4
	18-004	舞阪コミュニティ防災センター			地域	0.4
	08-016	舞阪第2保育園			生活	0.4
	26-014	弁天島中継ポンプ場			—	0.5
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-037	施設コード	02453	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	舞坂宿脇本陣			施設	中央区・西行政センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		復元した脇本陣を公開し、舞坂宿に関する資料の保存と活用を図り、地方文化の発展に資するため(浜松市舞坂宿脇本陣条例第1条)					
		主な業務内容	脇本陣の保存及び公開、舞坂宿に関する資料の収集、保管、展示				
		主な利用者	観光客				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の来館者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	横ばい					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況		
					のべ募集人員	参加者数	
			事業①	2023	—	—	—
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			事業②	2023	—	—	—
2022			—	—	—		
2021			—	—	—		
事業③			2023	—	—	—	
2022			—	—	—		
2021			—	—	—		
事業④			2023	—	—	—	
2022	—	—	—				
2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	本施設は旧東海道宿駅では唯一現存する脇本陣の遺構として大変貴重なものであり、浜松市指定有形文化財(建造物)である。来館者は横ばいで推移しているが、無料施設のため歳入はない。ハード面では、修復後20年以上が経過し、経年劣化により修繕が必要な箇所が増えている。また以前施設が蟻害に遭っているため、白蟻対策も課題となる。					
	対応策	特に観光客や旅行代理店に施設をPRすることで、来館者数増加を目指す。ハード面では経年劣化により修繕が必要な箇所が増えているため、重要度や危険度合等を考慮し、優先順位をつけて計画的に修繕を行っていく。蟻害対策については5年に1回の頻度で白蟻防除工事を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	現段階では民活導入は難しいと考える。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,843	1,500	2,296	1人当たりのコスト(円)	204	133	218	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	3,110	1,646	2,519	
	1日当たり利用者(人)	15	12	12	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
文化財として、適切な保存に努める。									

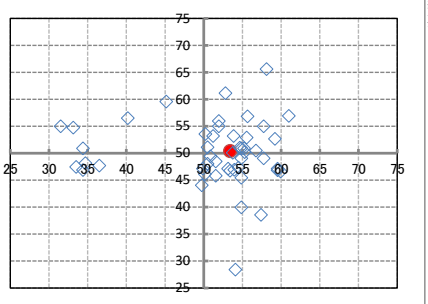
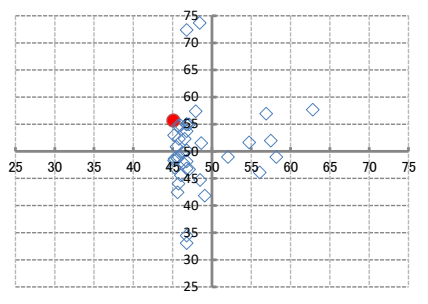
リストNo		04-038		施設コード		00114		
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設						
施設名		ヒラシロ遺跡						
所在(町名・番地)		天竜区熊683-2						
利用者の圏域別分類等		文化財			中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	市民部文化財課			課長名	平田 隆		
	施設	天竜区・まちづくり推進課			課長名	佐々木 豊		
設置根拠(法)		—						
条例		—						
設置目的		平成4年に縄文時代の住居跡が発見され、北遠地方の縄文時代の生活を知る貴重な資料として保存・復元及び周辺整備を行った。						
主な利用者		一般市民						
運営形態		直営						
指定管理または包括管理委託等の期間		～						
管理者名		—						
開館時間		—						
建物情報	総延床面積	50.00		土地情報	土地面積	1,152.00		
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	1,152.00		
	地上階数(主要建物)	1				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					代表地目(現況地目)	雑種地
	耐震工事(主要建物)	-			雑種地			
	建築年月日(主要建物)	1994/3/22						
	経過年数(主要建物)	30						
用途地域		都市計画区域外						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		—		—		—		
財源	国・県	—		—		—		
	寄付金	—		—		—		
	その他	—		—		—		
	市債	—		—		—		
	一般財源	—		—		—		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	59	230	223
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	26	30	26
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	85	260	249
行政コスト（B－A）		85	260	249
収支前年比		32.69	104.42	110.18
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	117	117	115
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	28	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類						
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-038	施設コード	00114	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	ヒラシロ遺跡			施設	天竜区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		平成4年に縄文時代の住居跡が発見され、北遠地方の縄文時代の生活を知る貴重な資料として保存・復元及び周辺整備を行った。					
		主な業務内容	出土品の展示、復元住居の公開				
		主な利用者	一般市民				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用(小学生の社会科見学等)がある。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の利用(小学生の社会科見学等)が見込まれる。					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	復元住居は、茅、葛、天然木などを使用するため老朽化が早い。現時点でも平成24～27年度にかけ修繕を行ったものが、傷み朽ちてきており、ポリカーボネイト等で応急処置をしている状況である。地元から復元住居更新の要望がある。					
	対応策	復元住居の更新については、地元の意向を踏まえつつ、他市の整備事例を参考に、整備・維持管理に係る経費や、施設管理のしやすさを考慮した整備方法を検討していく。合わせて遺跡公園の機能についても検討し、整備していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,700	5,200	4,980	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	726	2,222	2,165
	1日当たり利用者(人)	0	0	0	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	文化財として、適切な保存に努める。							

リストNo		04-039	施設コード	02679	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		民俗資料館旧久保邸			
所在(町名・番地)		天竜区水窪町奥領家1097			
利用者の圏域別分類等		文化財		中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部博物館		課長名	鈴木 一有
	施設	天竜区・水窪支所		課長名	岩本 晃
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		移築した古民家を活用して水窪民俗資料館の展示物の一部を紹介するため設置			
主な利用者		一般			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	88.27	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造			
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1998/4/1			
	経過年数(主要建物)	26		代表地目(現況地目)	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

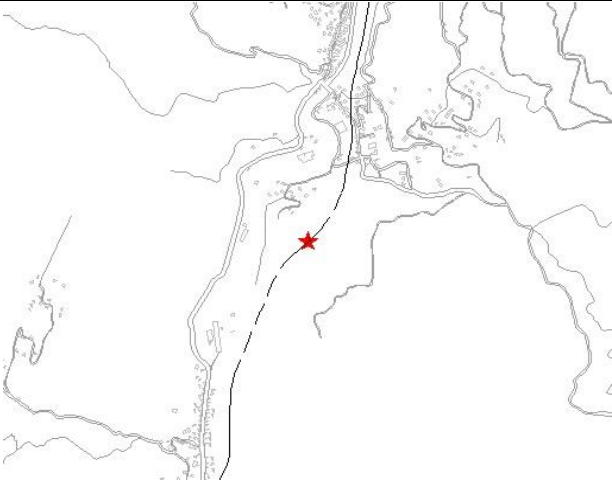
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-027	水窪民俗資料館	地域		0.0	
	04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等		1.0	
その他の分類	14-146	水窪第2分団第5部竜戸詰所	コミュニティ		0.2	
	25-025	向島浄水場	—		0.8	
	14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ		0.8	
	05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等		0.8	
	14-027	天竜消防署水窪出張所	地域		0.9	
	05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ		0.9	
	02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域		0.9	
	13-070	つつじヶ丘団地	地域		0.9	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-039	施設コード	02679	所管課	本庁	市民部博物館		
	施設名	民俗資料館旧久保邸			施設	天竜区・水窪支所			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		移築した古民家を活用して水窪民俗資料館の展示物の一部を紹介するため設置							
		主な業務内容	展示業務(水窪民俗資料館の展示物の一部)						
		主な利用者	一般						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	当初に比べ来館者は減少している						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	来館者数は現在と比較し横ばいと予想される						
	特記事項	貴重な民俗資料としてのニーズは高い							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	水窪民俗資料館の展示物の一部のため、利用者数・収入・支出は水窪民俗資料館に含む。	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
2022				—	—	—			
2021				—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	140年以上前の民家を移築し保存している。							
	対応策	今後も良好な状態での維持・保存に努めていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

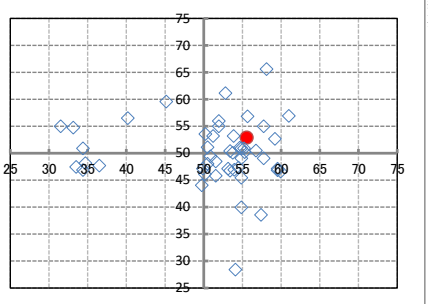
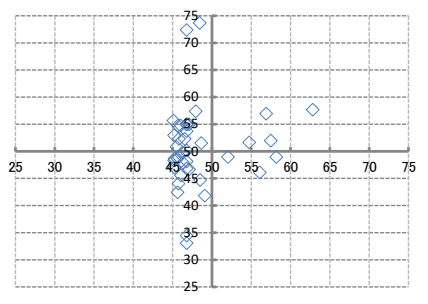
参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	文化財として、適切な保存に努める。							

リストNo		04-040	施設コード	00808	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		高根城復元施設			
所在(町名・番地)		天竜区水窪町地頭方160-2			
利用者の圏域別分類等		文化財		中山間地域	
財産区分		普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	市民部文化財課		課長名	平田 隆
	施設	天竜区・水窪支所		課長名	岩本 晃
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		高根城跡(浜松市指定史跡)の保存・活用			
主な利用者		一般			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物 情報	総延床面積	83.28	土 地 情 報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2000/3/24			
	経過年数(主要建物)	24		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)			
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費 (千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				

				
収入(千円)	項目	2023	2022	2021
	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	142	141	136
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	6	6	6
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	148	147	142
	行政コスト(B-A)	148	147	142
	収支前年比	100.68	103.52	100.00
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	0	0	1.717
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	浜松市高根城井楼櫓柱脚及び外装改修工事	9,229			
近隣施設						
同分類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
	04-055	水窪観光展示休憩所			小規模等	1.8
その他の分類	15-143	水窪中学校			生活	0.6
	05-026	水窪総合体育館			地域	0.6
	13-076	水窪団地			地域	0.9
	14-144	水窪第1分団第4部上村蔵置所			コミュニティ	1.0
	14-142	水窪第1分団第1部本町詰所			コミュニティ	1.0
	25-029	上村配水池			—	1.1
	13-077	芋堀団地			地域	1.1
	03-064	城西ふれあいセンター			生活	1.2
施設周辺地図情報						
						

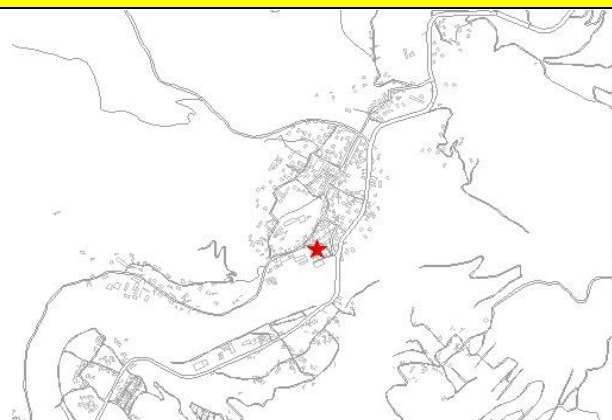
基本情報	リストNo	04-040	施設コード	00808	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	高根城復元施設			施設	天竜区・水窪支所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		高根城跡(浜松市指定史跡)の保存・活用					
		主な業務内容	展示業務				
		主な利用者	一般				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	近年、山城が注目を集めていることもあり減少はしていない				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	横ばいと予想される					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により柵等の木部に腐食有り。					
	対応策	今後も必要な修繕などを施しながら良好な施設の維持に努めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,777	1,765	1,705	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	文化財として、適切な保存に努める。							

リストNo		04-041	施設コード		00516	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		旧王子製紙製品倉庫				
所在(町名・番地)		天竜区春野町気田556-1				
利用者の圏域別分類等		文化財		中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	市民部文化財課			課長名	平田 隆
	施設	天竜区・春野支所			課長名	尾畑 佳志
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		静岡県指定有形文化財(建造物)の保存・活用				
主な利用者		一般市民 観光客				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	166.98		土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	レンガ造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	1889/3/1			代表地目(現況地目)	
	経過年数(主要建物)					
	用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	64	63	63
	維持補修費（修繕費）	0	18	47
	物件費（光熱水費）	13	9	12
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	77	90	122
行政コスト（B－A）		77	90	122
収支前年比		85.56	73.77	65.95
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	196
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	15-142	春野中学校	生活		0.0	
	16-013	春野学校給食センター	地域		0.0	
	14-127	春野第3分団気田	コミュニティ		0.2	
	08-077	気田幼稚園	生活		0.2	
	15-088	気田小学校	生活		0.2	
	13-071	気田団地	地域		0.3	
	02-014	気田地区教職員住宅	地域		0.3	
	25-022	旧気多簡易水道	—		0.3	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-041	施設コード	00516	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	旧王子製紙製品倉庫			施設	天竜区・春野支所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の継承					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		静岡県指定有形文化財(建造物)の保存・活用					
		主な業務内容	施設公開				
		主な利用者	一般市民 観光客				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用がある。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の利用が予想される。				
	特記事項	地域の文化遺産継承に必要不可欠な施設					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化に伴い、木製窓枠や外壁(レンガ)の修繕が必要となる。					
	対応策	建物調査(耐震診断調査を含む)を依頼し、その調査結果を踏まえ、文化財建造物として修理計画を進めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	461	539	731	1人当たりのコスト(円)	—	—	622
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
文化財として、適切な保存に努める。								

リストNo	04-042	施設コード	04004
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	ものづくり伝承館		
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣1112		
利用者の圏域別分類等	文化財	中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	その他
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 佐々木 豊
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	国登録有形文化財である旧二俣町役場を活用し、浜松市名誉市民である本田宗一郎氏の偉業を顕彰するとともに、次の時代を担う青少年の人づくりを図り、地域活性化に寄与することを目的に設置する。		
主な利用者	市民		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	10:00 ～ 16:30		
建物情報	総延床面積	467.82	土地情報
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2010/3/10	
	経過年数(主要建物)	14	
用途地域		第二種住居地域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



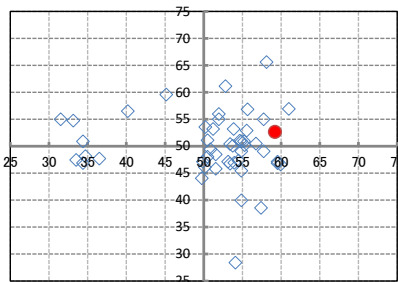
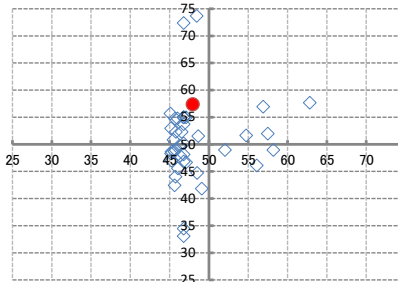
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	405	438
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	0	405	438
行政コスト(B-A)		0	405	438
収支前年比		0.00	92.47	152.08
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,981	5,981	5,981
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	21,485	20,977	17,582
	開館日数/年	251	250	245
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	18,074	58,644	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2010	昇降機設置工事(昇降機設備工事)	6,993			
	2010	昇降機設置工事(建築工事)	5,796			
	2009	施設整備工事(建築工事)	104,370			
	2009	施設整備工事(機械設備工事)	12,600			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別 距離(km)
	04-030	ヤマタケの蔵	地域 0.1
	04-047	二俣歴史散策路	小規模等 0.2
	04-012	秋野不矩美術館	市域 0.5
	04-025	内山真龍資料館	地域 1.2
	04-044	田代家住宅	文化財 1.2
その他の分類	14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ 0.1
	14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ 0.2
	07-067	ふたまた児童クラブ	生活 0.3
	15-096	二俣小学校	生活 0.3
	03-058	二俣ふれあいセンター	生活 0.4
	13-085	田組西団地	地域 0.5
	09-010	天竜保健福祉センター	地域 0.6
	01-024	天竜区役所南館	地域 0.6



基本情報	リストNo	04-042	施設コード	04004	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課		
	施設名	ものづくり伝承館			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		国登録有形文化財である旧二俣町役場を活用し、浜松市名誉市民である本田宗一郎氏の偉業を顕彰するとともに、次の時代を担う青少年の人づくりを回り、地域活性化に寄与することを目的に設置する。							
		主な業務内容	展示公開、ワークショップ・セミナー等開催						
		主な利用者	市民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の入館者があり需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	一定の入館者が見込まれる。						
	特記事項	平成22年度より本田宗一郎ものづくり伝承館として活用。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	本田宗一郎顕彰事業	2023	4,539	不特定	—		
				2022	3,467	不特定	—		
				2021	6,544	不特定	—		
		事業②	ものづくり企画運営事業	2023	166	不特定	—		
				2022	148	不特定	—		
2021				66	不特定	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	改築後15年目となり修繕する箇所が少しづつ発生している。							
	対応策	入館者の安全・快適な利用をしてもらえるよう、今後も施設の修繕等適切な管理を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	866	936	1人当たりのコスト(円)	0	19	25
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	0	1,620	1,788
	1日当たり利用者(人)	86	84	72	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園（フラワーパーク・動物園）については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
文化財として、適切な保存に努める。								

リストNo		04-044	施設コード		04777	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		田代家住宅				
所在(町名・番地)		天竜区二俣町鹿島489				
利用者の圏域別分類等		文化財		中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	市民部文化財課			課長名	平田 隆
	施設	天竜区・まちづくり推進課			課長名	佐々木 豊
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		国登録有形文化財に登録された歴史的建築物であるとともに、天竜地域の史跡等を結ぶ「歴史散策路」に隣接していることから敷地内にトイレを設置し休憩施設としても活用されている。				
主な利用者		一般市民				
運営形態		直営				
指定管理または包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		10:00 ～ 16:00				
建物情報	総延床面積	400.00		土地情報	土地面積	2,030.65
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	0.31				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	2,030.65
	建築年月日(主要建物)	1859/04/01				
	経過年数(主要建物)				代表地目(現況地目)	
用途地域		第一種住居地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	238	659	164
	維持補修費（修繕費）	172	110	304
	物件費（光熱水費）	96	110	92
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	506	879	560
	行政コスト（B－A）	506	879	560
収支前年比		57.57	156.96	49.38
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	2,583	2,104	1,407
	開館日数/年	109	105	108
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	国登録有形文化財旧田代家住宅土蔵保存・解体工事	5,412			

近隣施設				
	No	施設名	圏域種別	距離(km)
同分類	04-047	二俣歴史散策路	小規模等	1.1
	04-042	ものづくり伝承館	文化財	1.2
	04-030	ヤマタケの蔵	地域	1.4
	04-012	秋野不矩美術館	市域	1.4
その他の分類	17-011	鳥羽山公園	地域	0.2
	14-095	天竜第3分団鹿島	コミュニティ	0.6
	14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ	0.6
	15-144	清竜中学校	生活	0.7
	03-016	天竜壬生ホール	地域	0.8
	07-066	天竜児童館	生活	0.9
	18-069	旧鹿島保育園	地域	1.0
	15-096	二俣小学校	生活	1.0

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	04-044	施設コード	04777	所管課	本庁	市民部文化財課		
	施設名	田代家住宅			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		国登録有形文化財に登録された歴史的建築物であるとともに、天竜地域の史跡等を結ぶ「歴史散策路」に隣接していることから敷地内にトイレを設置し休憩施設としても活用されている。							
		主な業務内容	資料の展示・休憩施設						
		主な利用者	一般市民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	歴史的建築物としての重要性、ニーズは一定						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	歴史的建築物としての重要性、ニーズは今後も見込まれる。						
	特記事項	令和2年度、経年劣化による倒壊の危険性が判明したため土蔵を解体。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
		事業①	各種歴史資料の展示	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
課題	平成27年度の耐震診断では補強が必要とされ、平成28年度の地質調査では耐震補強工事に伴う地盤強化が必要とされた。主屋の傾きが急激に進行したことにより令和5年度に屋内の見学範囲を縮小、修理の緊急性が高まっている。解体された土蔵について、施設管理団体から外観復旧の要望がある。								
対応策	平成29年度に耐震補強工事に係る設計業務を実施。今後、主屋の耐震補強工事について、令和5年3月に作成された保存活用計画に従い、国の補助を受けて実施する。土蔵については地元、専門家の意見を踏まえ、整備方法等を検討する。								
施設所管課・本庁所管課記入欄	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,265	2,198	1,400	1人当たりのコスト(円)	196	418	398
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	4,642	8,371	5,185
	1日当たり利用者(人)	24	20	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
文化財として、適切な保存に努める。								

リストNo		04-045		施設コード		04945	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設					
施設名		館山寺門前広場・門前通り公共駐車場					
所在(町名・番地)		中央区館山寺町2219					
利用者の圏域別分類等		小規模等			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課			課長名	須藤 俊英	
	施設	中央区・西行政センター			課長名	渡辺 貴史	
設置根拠(法)		—					
条例		—					
設置目的		館山寺温泉観光客を対象にした休憩・ビューポイント及び駐車場として運営するため					
主な利用者		観光客					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	14.40		土地情報	土地面積		1,081.87
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	1,081.87	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	2011/3/31					
	経過年数(主要建物)	13			代表地目(現況地目)		宅地
用途地域		商業地域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計（A）	3	3	3
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	106	572	102
	維持補修費（修繕費）	363	0	0
	物件費（光熱水費）	51	66	8
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	520	638	110
	行政コスト（B－A）	517	635	107
収支前年比		81.42	593.46	16.56
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		349	349	349
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	34,589	5,731	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-019	館山寺ターミナル事務所	地域		0.6	
	04-004	動物園	広域		1.5	
そ の 他 の 分 類	07-038	庄内学園放課後児童会	生活		1.3	
	14-014	西消防署庄内出張所	地域		1.3	
	26-012	館山寺浄化センター	—		1.4	
	03-041	庄内協働センター	生活		1.4	
	15-116	庄内学園(庄内小学校・中学校)	生活		1.4	
	08-037	北庄内幼稚園	生活		1.4	
	09-012	動物愛護教育センター	市域		1.5	
	25-049	上下水道部西営業所			1.5	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-045	施設コード	04945	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場			施設	中央区・西行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		館山寺温泉観光客を対象にした休憩・ビューポイント及び駐車場として運営するため							
		主な業務内容	散策・休憩施設、無料駐車場						
		主な利用者	観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		館山寺のメイン通りに面していて利用は多い。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		スマートインターの整備等により、今後もニーズが見込まれる。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化等大きな問題はない。							
	対応策	必要な修繕により維持管理していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	ニーズや費用対効果を踏まえて民間活力導入の可能性について検討していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	35,903	44,097	7,431	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者等の圏域毎の方向性 休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性 これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。								

リストNo		04-046	施設コード	02506	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		弁天島駅観光案内所			
所在(町名・番地)		中央区舞阪町弁天島289-13			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産		公共用財産	
				その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	中央区・西行政センター		課長名	渡辺 貴史
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		弁天島地区の観光振興及び情報発信の拠点として運営するため			
主な利用者		観光客			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	7.06	土地情報	土地面積	13.00
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	13.00
	建築年月日(主要建物)	1972/1/1			
	経過年数(主要建物)	52			
用途地域		商業地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
	行政コスト(B-A)	0	0	0
収支前年比		—	—	0.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	駅前アーケード解体撤去工事	12,987			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	04-017	渚園	地域	0.9		
	04-037	舞坂宿脇本陣	文化財	0.9		
その他の分類	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.2		
	26-015	蓬莱園中継ポンプ場	—	0.3		
	08-015	舞阪第1保育園	生活	0.4		
	26-014	弁天島中継ポンプ場	—	0.5		
	13-036	蓬莱園団地	地域	0.5		
	10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.6		
	01-015	舞阪支所	地域	0.7		
	26-016	観月園中継ポンプ場	—	0.7		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-046	施設コード	02506	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	弁天島駅観光案内所			所管課	施設	中央区・西行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		弁天島地区の観光振興及び情報発信の拠点として運営するため								
		主な業務内容	浜松市内の観光施設等及び宿泊施設の照会、案内所周辺の清掃							
		主な利用者	観光客							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		弁天島をはじめとする浜名湖周辺を訪れる観光客に需要がある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		引き続き弁天島を訪れる観光客のニーズが見込まれる。							
	特記事項		—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
									のべ募集人員	参加者数
		事業①	—				2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
		事業②	—				2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④	—				2023	—	—	—		
					2022	—	—	—		
					2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化に伴う施設の老朽化が進んでいる。								
	対応策	必要な修繕により維持管理していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	民間活力による弁天島海浜公園の再整備の可能性を考慮しながら、公園と連携した管理運営等について検討していく。									

項目				項目			
2023	2022	2021	2023	2022	2021		
行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

参考指標

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価

参考

利用者の圏域毎の方向性

利用者等の圏域毎の方向性

利用用途別分類毎の方向性

休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。

これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。

館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

個別方針

民間導入による弁天島海浜公園の再整備の可能性を考慮しながら、公園との一体的な管理運営等について検討していく。

リストNo		04-047	施設コード	02829	
利用用途別分類（施設分類）		文化・観光施設			
施設名		二俣歴史散策路			
所在（町名・番地）		天竜区二俣町二俣850-1			
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
課	施設	天竜区・まちづくり推進課		課長名	佐々木 豊
設置根拠（法）		—			
条例		—			
設置目的		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置			
主な利用者		散策路、遊歩道などの利用者			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	20.25	土地情報	土地面積	4,598.87
	構造（主要建物）	木造		うち所有面積	4,555.47
	地上階数（主要建物）	1			
	耐震性能（1st値）（主要建物）	新			
	耐震工事（主要建物）	—		うち借地面積	43.40
	建築年月日（主要建物）	1996/3/1			
	経過年数（主要建物）	28		代表地目（現況地目）	山林
用途地域		第一種住居地域			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計	
設置事業費		6,200	—	6,200	
財源	国・県	2,800	—	2,800	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	3,400	—	3,400	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	0	0	0
	維持補修費（修繕費）	935	0	0
	物件費（光熱水費）	42	58	41
	物件費（借地料）	105	105	105
	支出計（B）	1,082	163	146
行政コスト（B－A）		1,082	163	146
収支前年比		663.80	111.64	20.00
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	110	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-042	ものづくり伝承館	文化財		0.2	
	04-030	ヤマタケの蔵	地域		0.3	
	04-012	秋野不矩美術館	市域		0.7	
	04-044	田代家住宅	文化財		1.1	
	04-025	内山真龍資料館	地域		1.3	
その他の分類	07-067	ふたまた児童クラブ	生活		0.1	
	15-096	二俣小学校	生活		0.1	
	14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ		0.3	
	14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ		0.4	
	14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ		0.5	
	03-058	二俣ふれあいセンター	生活		0.5	
	09-010	天竜保健福祉センター	地域		0.7	
	01-024	天竜区役所南館	地域		0.7	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-047	施設コード	02829	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	二俣歴史散策路			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置							
		主な業務内容	休憩所						
		主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されたと考える。			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されたと考える。			
	特記事項				—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。県補助金等によって建設した施設。遊歩道は全体的に腐食や破損箇所が多く見られ、通行に危険な箇所が点在している。							
	対応策	休憩所については、定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。 遊歩道については、安全面の配慮から利用を停止し、存廃を検討していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	53,432	8,049	7,210	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者等の圏域毎の方向性 休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性 これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。								

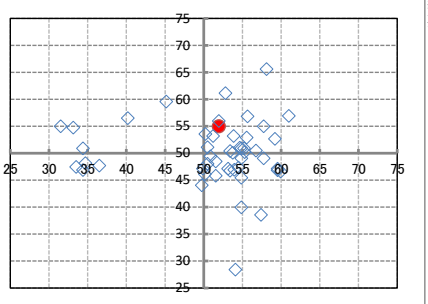
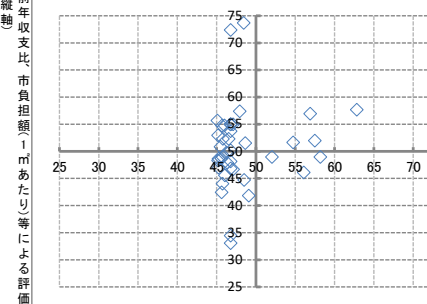
リストNo		04-048	施設コード		00475	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		岩岳山登山口休憩舎				
所在(町名・番地)		天竜区春野町小俣京丸263				
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課			課長名	須藤 俊英
	施設	天竜区・まちづくり推進課			課長名	佐々木 豊
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		登山道などの休憩場所として設置				
主な利用者		岩岳山登山者				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物 情報	総延床面積	23.18		土 地 情 報	土地面積	23.18
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	23.18
	建築年月日(主要建物)	1990/3/20				
	経過年数(主要建物)	34				
					代表地目(現況地目)	
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費 (千円)		計
設置事業費		29,022		—		29,022
財源	国・県	14,500		—		14,500
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	12,000		—		12,000
	一般財源	2,522		—		2,522
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類						
施設周辺地図情報						
						

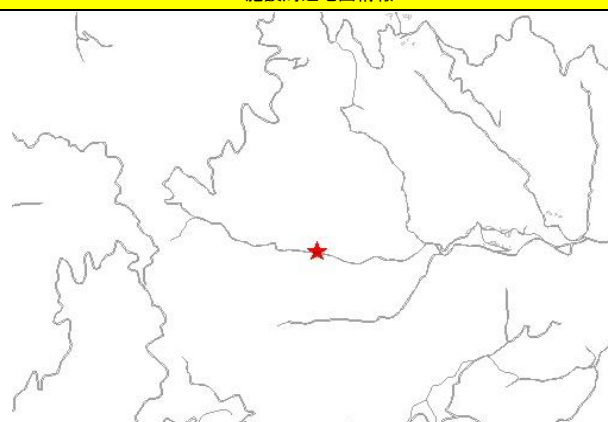
基本情報	リストNo	04-048	施設コード	00475	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	岩岳山登山口休憩舎			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		登山道などの休憩場所として設置							
		主な業務内容	休憩所						
		主な利用者	岩岳山登山者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	登山道の荒廃等により利用者は減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	登山道の再整備等が行われない状況においては、利用者が増加に転じる可能性は低いと見込まれる。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。岩岳山登山道は国有林を借地し整備したが、当初と比較すると登山道の荒廃が進んでいる。また、利用者も著しく減少しているため、登山道廃止も含めて、今後の方向性を調整する必要がある。県補助金等により建設した施設。							
	対応策	今後の方向性を地元関係者や国と調整していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	○	—	上記課題に記載のとおり			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。							

リストNo		04-050		施設コード		00833	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設					
施設名		黒滝あずまや					
所在(町名・番地)		天竜区熊1914-2					
利用者の圏域別分類等		小規模等			中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課			課長名	須藤 俊英	
	施設	天竜区・まちづくり推進課			課長名	佐々木 豊	
設置根拠(法)		—					
条例		—					
設置目的		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置					
主な利用者		散策路、遊歩道などの利用者					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	11.56		土地情報	土地面積	58.30	
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	58.30	
	建築年月日(主要建物)	1988/3/1					
	経過年数(主要建物)	36			代表地目(現況地目)		
用途地域		都市計画区域外					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	3	3	3
	支出計(B)	3	3	3
行政コスト(B-A)		3	3	3
収支前年比		100.00	100.00	100.00
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	14-120	天竜第11分団熊	コミュニティ		1.7	
	25-023	旧熊市場簡易水道	—		1.7	
	03-059	熊ふれあいセンター	生活		1.8	
	10-021	くまみディサービスセンター	地域		1.8	
	15-090	熊小学校	生活		1.8	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-050	施設コード	00833	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課				
	施設名	黒滝あずまや			施設	天竜区・まちづくり推進課					
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—				
	複合施設	—									
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化									
	設置の妥当性	設置目的(再掲)									
		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置									
		主な業務内容	休憩所								
		主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者								
		設置目的の継続性・妥当性									
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、需要は確保され则认为る。								
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保され则认为る。									
	特記事項	—									
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
									のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—					2023	—	—	—
								2022	—	—	—
								2021	—	—	—
		事業②	—					2023	—	—	—
								2022	—	—	—
								2021	—	—	—
事業③		—					2023	—	—	—	
							2022	—	—	—	
							2021	—	—	—	
事業④		—					2023	—	—	—	
					2022	—	—	—			
					2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)											
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。									
	対応策	定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。									
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄					
		廃止	—	—	—	—					
		民間移管	—	—	—	—					
		管理主体変更	—	—	—	—					
		代替サービス	—	—	—	—					
		統廃合	—	—	—	—					
		複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—						
民生導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。										

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	260	260	260	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者等の圏域毎の方向性 休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性 これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。								

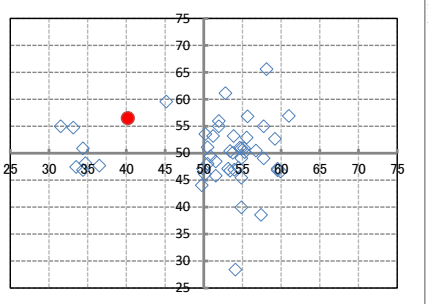
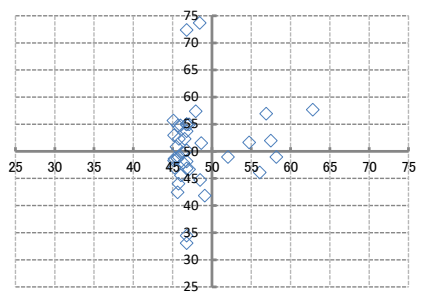
リストNo		04-051	施設コード	01174	
利用用途別分類（施設分類）		文化・観光施設			
施設名		秋葉山表参道あずまや			
所在（町名・番地）		天竜区春野町領家878			
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
課	施設	天竜区・まちづくり推進課		課長名	佐々木 豊
設置根拠（法）		—			
条例		—			
設置目的		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置			
主な利用者		散策路、遊歩道などの利用者			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	12.96	土地情報	土地面積	2,264.00
	構造（主要建物）	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数（主要建物）	1			
	耐震性能（1st値）（主要建物）	—			
	耐震工事（主要建物）	-		うち借地面積	2,264.00
	建築年月日（主要建物）	1996/3/28			
	経過年数（主要建物）	28		代表地目（現況地目）	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計	
設置事業費		58,579	—	58,579	
財源	国・県	25,800	—	25,800	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	32,779	—	32,779	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	364	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	35	35	35
	支出計(B)	35	399	35
行政コスト(B-A)		35	399	35
収支前年比		8.77	1140.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その 他 の 分 類	14-123	春野第1分団西領家	コミュニティ		0.6	
	03-020	春野ふれあい公園集会所	地域		0.8	
	25-028	旧若身簡易水道	—		1.2	
	14-121	春野第1分団犬居	コミュニティ		1.3	
	02-015	犬居地区教職員住宅	地域		1.5	
	18-059	旧南中学校(春野)	地域		1.6	
	13-073	若身団地	地域		1.7	
	15-091	犬居小学校	生活		1.7	
施設周辺地図情報						

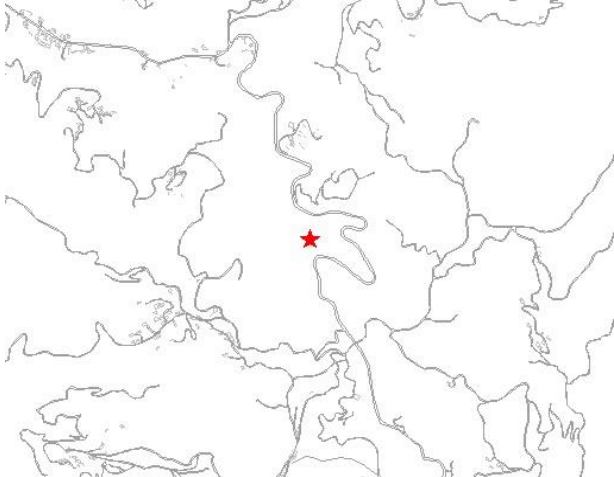
基本情報	リストNo	04-051	施設コード	01174	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	秋葉山表参道あずまや			所管課	施設	天竜区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置							
		主な業務内容	休憩所						
		主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保され则认为る。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保され则认为る。						
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—	2023	—	—	—	
				—	2022	—	—	—	
		—		2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。県補助金等により建設した施設。							
	対応策	定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,701	30,787	2,701	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。								

リストNo	04-053		施設コード	01620	
利用用途別分類（施設分類）	文化・観光施設				
施設名	青洞の丘展望台				
所在（町名・番地）	天竜区春野町堀之内1819-1				
利用者の圏域別分類等	小規模等		中山間地域		
財産区分	行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	天竜区・まちづくり推進課		課長名	佐々木 豊
設置根拠（法）		—			
条例		—			
設置目的		豊かな森林資源がもつ素晴らしい景観が一望でき、入込客の増加を図ることを目的として設置			
主な利用者		観光客			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	17.38	土地情報	土地面積	1,088.00
	構造（主要建物）	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数（主要建物）	1			
	耐震性能（1g値）（主要建物）	新			
	耐震工事（主要建物）	—		うち借地面積	1,088.00
	建築年月日（主要建物）	1990/3/20			
	経過年数（主要建物）	34		代表地目（現況地目）	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計	
設置事業費		18,428	—	18,428	
財源	国・県	6,700	—	6,700	
	寄付金	—	—	—	
	その他	10,000	—	10,000	
	市債	—	—	—	
	一般財源	1,728	—	1,728	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	0	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	935	469
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	92	92	92
	支出計（B）	92	1,027	561
行政コスト（B－A）		92	1,027	561
収支前年比		8.96	183.07	609.78
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物		その他
	0	0		—

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その 他 の 分 類	14-122	春野第1分団平野	コミュニティ		1.0	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-053	施設コード	01620	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	青洞の丘展望台			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		豊かな森林資源がもつ素晴らしい景観が一望でき、入込客の増加を図ることを目的として設置							
		主な業務内容	展望台						
		主な利用者	観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		春野町の玄関口である県道沿いにあり交通量は多いため、需要は確保されていると考える。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		春野町の玄関口である県道沿いにあり交通量は多いため、当面の需要は確保されると考える。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。県補助金等により建設した施設。							
	対応策	定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	5,293	59,091	32,278	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。施設更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。								

リストNo		04-054		施設コード		01967	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設					
施設名		天狗下駄展示場					
所在(町名・番地)		天竜区春野町宮川1768					
利用者の圏域別分類等		小規模等			中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	—			課長名		—
	施設	天竜区・春野支所			課長名		尾畑 佳志
設置根拠(法)		—					
条例		—					
設置目的		春野地域内観光振興及び地域振興を目的として設置					
主な利用者		観光客					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	19.95		土地情報	土地面積		39.75
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	39.75	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-					
	建築年月日(主要建物)	1988/9/1					
	経過年数(主要建物)	35			うち借地面積	0.00	
				代表地目(現況地目)		宅地	
用途地域		都市計画区域外					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	7
	収入計（A）	0	0	7
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	238	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	492	1,878
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	238	492	1,878
行政コスト（B－A）		238	492	1,871
収支前年比		48.37	26.30	—
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	256	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-029	白井鐵造記念館	地域		0.0	
	04-026	春野歴史民俗資料館	地域		1.3	
そ の 他 の 分 類	03-017	春野文化センター	地域		0.0	
	25-046	宮川水道倉庫	—		0.5	
	26-022	気田浄化センター	—		0.6	
	21-007	春野斎場	地域		0.6	
	14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ		0.8	
	14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域		1.0	
	01-025	春野支所	地域		1.0	
	10-019	春野福祉センター	地域		1.2	
施設周辺地図情報						

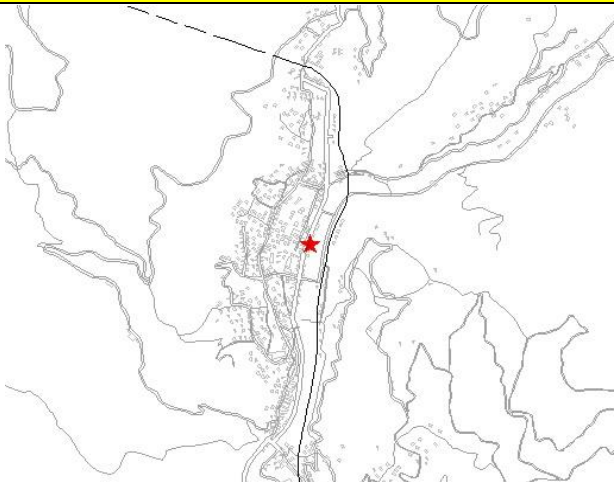
基本情報	リストNo	04-054	施設コード	01967	所管課	本庁	—		
	施設名	天狗下駄展示場			施設	天竜区・春野支所			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		春野地域内観光振興及び地域振興を目的として設置							
		主な業務内容	秋葉の山に住むという天狗に因み、天狗下駄等を展示						
		主な利用者	観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	ツーリング等の観光客増加により観光ポイントの一つとなっている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	観光ポイントとして、今後も継続した利用が予測される。						
		特記事項	隣接する日本一の大天狗面と一体の施設であり、観光振興には必要な施設						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	天狗の里に因んだ天狗グッズの展示。		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
		事業②	—		2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	木造建築のため、直射日光や雨の影響を受ける外壁等の部分は、定期的なメンテナンス(塗装工事)を実施する必要がある。また、築35年が経過し設備の老朽化がすすんでいる。							
	対応策	隣接する大天狗面とともに、適切な修繕を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	令和3年10月1日から地場産品販売所来訪者の休憩スペースとして活用を開始(地域団体により行政財産使用許可取得) 令和4年4月1日から地域団体に天狗下駄展示場施設管理業務の委託を開始								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	11,930	24,662	93,784	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。								

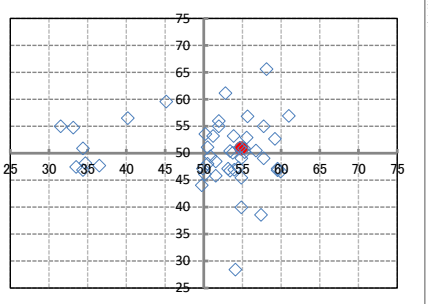
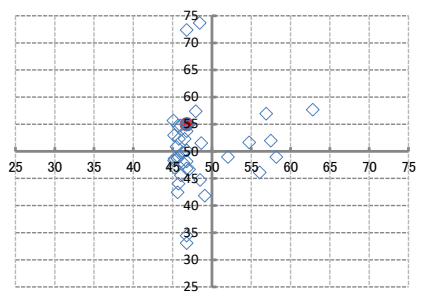
リストNo		04-055	施設コード	04314	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		水窪観光展示休憩所			
所在(町名・番地)		天竜区水窪町奥領家3281-48			
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域	
財産区分		普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	産業部農業振興課		課長名	木下 穰
	施設	産業部農業振興課		課長名	木下 穰
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		水窪地域の観光名所・旧跡、行事を紹介し観光客の利便や誘致を図ると共に、農産物の販売や品評会、各種イベントを開催し、地域の活性化を図る。			
主な利用者		市内外のレジャー目的の観光客			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	67.50	土地情報	土地面積	385.51
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	385.51
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1998/3/25			
	経過年数(主要建物)	26		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		宅地	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		30,000	—	30,000	
財源	国・県	15,000	—	15,000	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	15,000	—	15,000	
特記事項	民間法人(南碧(アオイ))との無償貸付契約を締結。				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	3,438	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-027	水窪民俗資料館	地域		1.0	
	04-039	民俗資料館旧久保邸	文化財		1.0	
	04-040	高根城復元施設	文化財		1.8	
その他の分類	01-028	水窪支所	地域		0.0	
	03-018	水窪文化会館	地域		0.1	
	25-021	旧簡易水道新道	—		0.4	
	05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等		0.4	
	14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ		0.4	
	02-010	神原市有住宅	地域		0.5	
	02-004	神原下教職員住宅	地域		0.5	
	02-005	神原上教職員住宅	地域		0.6	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-055	施設コード	04314	所管課	本庁	産業部農業振興課	
	施設名	水窪観光展示休憩所			施設	産業部農業振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	生産基盤の安定による農業振興						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		水窪地域の観光名所・旧跡、行事を紹介し観光客の利便や誘致を図ると共に、農産物の販売や品評会、各種イベントを開催し、地域の活性化を図る。						
		主な業務内容	観光案内所、観光展示休憩所、地域のイベント開催					
		主な利用者	市内外のレジャー目的の観光客					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか H27年度から隣接施設と一体管理し活用されている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 横ばい							
	特記事項 —							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—
—				2022	—	—		
—				2021	—	—		
事業②			—		2023	—	—	
			—		2022	—	—	
			—		2021	—	—	
事業③	—		2023	—	—			
	—		2022	—	—			
	—		2021	—	—			
事業④	—		2023	—	—			
	—		2022	—	—			
	—		2021	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築20年が経過して施設の老朽化が進んでいる、今後修繕が必要と予想される。						
	対応策	契約に基づき、民間法人(旬碧(アオイ))が修繕を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
複合化		—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	適切な維持管理を指導する。								

リストNo	04-057	施設コード	05055
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	浜松市地域遺産センター		
所在(町名・番地)	浜名区引佐町井伊谷616-5		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆
	施設	市民部文化財課	課長名 平田 隆
設置根拠(法)	文化財保護法		
条例	—		
設置目的	市内の文化財等の保存・活用を図る。		
主な利用者	市民、観光客		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 17:00		
建物情報	総延床面積	3,136.43	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1982/11/30	
	経過年数(主要建物)	41	
用途地域		第一種住居地域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	655,605	—	655,605
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	655,605	655,605
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	300	242
	収入計(A)	300	242
支出(千円)	人件費	58,157	61,951
	物件費(委託料)	6,627	6,479
	維持補修費(修繕費)	1,055	581
	物件費(光熱水費)	10,606	13,665
	物件費(借地利)	0	0
支出計(B)		76,445	82,676
行政コスト(B-A)		76,145	82,434
収支前年比		92.37	120.41
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		18,489	18,489
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	7,633	5,843
	開館日数/年	292	270
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	76,035	178,677	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	受変電設備改修工事	27,422	2016	地域遺産センター改修工事(建築)	185,847
2020	給水設備改修工事	19,470	2007	空調設備修繕工事	4,305
2018	外壁改修工事	25,134	2007	消火栓配管改修工事	4,725
2018	屋根防水工事	13,183			
2016	地域遺産センター改修工事(機械)	118,584			
2016	地域遺産センター改修工事(電気)	51,499			
近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
	04-060	横尾歌舞伎伝承館 開明座(旧東四村農村コミュニティセンター)	コミュニティ	1.0	
その他の分類	01-019	引佐支所	地域	0.1	
	06-013	引佐図書館	地域	0.2	
	03-014	引佐多目的研修センター	地域	0.2	
	08-019	引佐保育園	生活	0.3	
	18-007	引佐文化財収蔵庫	地域	0.3	
	15-066	井伊谷小学校	生活	0.3	
	08-048	引佐幼稚園	生活	0.4	
	07-052	井伊谷放課後児童会	生活	0.4	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	04-057	施設コード	05055	所管課	本庁	市民部文化財課		
	施設名	浜松市地域遺産センター			施設	市民部文化財課			
	人員数	正規職員(人)	5	会計年度任用職員(人)	8	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市内の文化財等の保存・活用を図る。							
		主な業務内容	文化財等資料の安定的保管、展示・講座・情報発信等による文化財保護の啓発、埋蔵文化財の調査・開発調整						
		主な利用者	市民、観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないが、新型コロナウイルス感染拡大等による来場者の減少はみられるが、文化財保護の観点から必要性は変わらない。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			文化財保護の拠点施設として、今後の必要性は高まると予測される。				
		特記事項			3階部分は未改修である。				
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	展示事業 企画展「土に埋もれた浜松の中・近世」、常設展「戦国の井伊谷」「出土品が語る浜松の歴史」 ※参加者数は通年来場者数			2023	96	不特定	7,633
						2022	194	不特定	5,843
						2021	194	不特定	4,343
		事業②	体験学習事業:2回 ・ふれてみよう！考古学の世界(7/29(土)～8/13(日)) ・ふれてみよう！考古学の世界petit(11/11(土)～11/12(日))			2023	37	不特定	243
			2022	15	不特定	473			
			2021	7	不特定	633			
事業③		見学会事業:1回 ・見学会「井伊谷の城と館」(5/3(金))			2023	—	不特定	50	
					2022	—	50	50	
					2021	—	不特定	660	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	地域遺産センターは旧引佐町役場の建物及び設備の一部を改修し、用途替えたものである。未改修部分は築40年以上経過し、老朽化が著しい。設備更新若しくは修繕の必要な箇所が複数みられる。							
	対応策	修繕の緊急性・必要性の高い箇所から優先順位をつけ、工事を行っていく必要がある。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	○	—	地域振興・観光振興等における利活用も視野に入れる			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	現在は、(公社)浜松市シルバー人材センターへ受付・案内・販売・清掃等を委託しており、円滑に運営されているため、当面は現状の体制を継続予定であるが、将来的には包括的な委託や指定管理者制度の導入等を視野に入れて検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	24,278	26,283	21,827	1人当たりのコスト(円)	9,976	14,108	15,770
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	260,771	305,311	243,626
	1日当たり利用者(人)	26	22	15	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前 年収支比率等 による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設の 総合管理計画 (令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	指定管理	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面、適切な維持管理に努める。								

リストNo		04-058	施設コード	01820	
利用用途別分類（施設分類）		文化・観光施設			
施設名		滝沢キャンプ場トイレ			
所在（町名・番地）		浜名区滝沢町1208-1			
利用者の圏域別分類等		小規模等		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	浜名区・北行政センター		課長名	堤 信弘
設置根拠（法）		—			
条例		—			
設置目的		日常を離れた自然の中で安全・快適に野外活動体験をすることにより、自然とのふれあいや理解を深める場として設置するもの			
主な利用者		市民及び市外観光客等			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	46.97	土地情報	土地面積	4,268.95
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	4,268.95
	地上階数（主要建物）	1			
	耐震性能（Is値）（主要建物）	新			
	耐震工事（主要建物）	－			
	建築年月日（主要建物）	2010/10/29			
	経過年数（主要建物）	13		うち借地面積	0.00
		代表地目（現況地目）		公園	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費（千円）	土地取得事業費（千円）	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	102	0	0
	収入計(A)	102	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	251	219	200
	維持補修費(修繕費)	1,555	2,440	0
	物件費(光熱水費)	75	92	77
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	1,881	2,751	277
行政コスト(B-A)		1,779	2,751	277
収支前年比		64.67	993.14	67.23
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		516	516	516
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	12,404	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

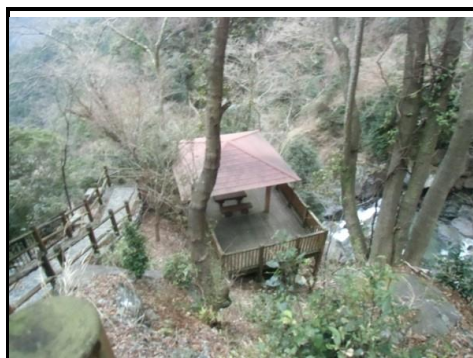
近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	04-006	フルーツパーク	広域	1.1
その他の分類	18-009	大平書庫	地域	1.1
	14-092	亀玉分団大平	コミュニティ	1.1
	14-001	消防ヘリポート	広域	1.4
	12-009	農業バイオセンター	市域	1.4
	18-062	旧滝沢小学校	地域	1.6



基本情報	リストNo	04-058	施設コード	01820		所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	滝沢キャンプ場トイレ				施設	浜名区・北行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—		会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	—	
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		日常を離れた自然の中で安全・快適に野外活動体験をすることにより、自然とのふれあいや理解を深める場として設置するもの								
		主な業務内容	キャンプ等野外活動の場を提供							
		主な利用者	市民及び市外観光客等							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				無料で利用でき、新東名浜松浜北IC、浜松SICから近い立地により、多くの利用者があ				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				市外、市内からも利用しやすい立地で、今後もニーズが見込まれる。				
		特記事項				—				
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
									のべ募集人員	参加者数
		事業①	キャンプ場利用者数	2023	—		—	—	—	
				2022	—		—	—	2,94	
				2021	—		—	—	2,05	
		事業②	—	2023	—		—	—	—	
2022				—		—	—	—		
2021				—		—	—	—		
事業③		—	2023	—		—	—	—		
			2022	—		—	—	—		
			2021	—		—	—	—		
事業④		—	2023	—		—	—	—		
	2022		—		—	—	—			
	2021		—		—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし								
	対応策	特になし。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	キャンプ場(トイレ・駐車場除く)については、2023年10月より民間貸付を開始した。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	37,875	58,569	5,897	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用者の 区域毎の 方向性 利用用途別分類毎の方向性 これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo		04-059	施設コード	05226	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		瀬尻不動の滝遊歩道			
所在(町名・番地)		天竜区龍山町瀬尻890-1			
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	天竜区・まちづくり推進課		課長名	佐々木 豊
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置			
主な利用者		散策路、遊歩道などの利用者			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	29.40	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2006/3/29			
	経過年数(主要建物)	18		代表地目(現況地目)	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	75
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	75
行政コスト(B-A)		0	0	75
収支前年比		—	0.00	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	1,950	2,054
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	18-061	旧龍山北小学校	地域		0.6	
	02-008	龍山明窓寮教職員住宅	地域		0.7	
	14-130	佐久間第2分団瀬尻車庫	コミュニティ		0.7	
	03-019	龍山森林文化会館	地域		0.9	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-059	施設コード	05226	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課				
	施設名	瀬尻不動の滝遊歩道			施設	天竜区・まちづくり推進課					
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—				
	複合施設	—									
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化									
	設置の妥当性	設置目的(再掲)									
		散策路、遊歩道などの休憩場所として設置									
		主な業務内容	休憩所								
		主な利用者	散策路、遊歩道などの利用者								
		設置目的の継続性・妥当性									
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されていると考える					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測				アウトドアブームや自然・健康志向の高まりもあり、当面の需要は確保されていると考える					
	特記事項				—						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
									のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—					2023	—	—	—
								2022	—	—	—
								2021	—	—	—
		事業②	—					2023	—	—	—
								2022	—	—	—
								2021	—	—	—
事業③		—					2023	—	—	—	
							2022	—	—	—	
					2021	—	—	—			
事業④	—					2023	—	—	—		
						2022	—	—	—		
						2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)											
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	屋外にある木造施設のため、年数が経つと木部の腐食や塗装の剥がれが発生する。									
	対応策	定期的に施設を点検し、計画的な維持修繕をしていく。									
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄					
		廃止	—	—	—	—					
		民間移管	—	—	—	—					
		管理主体変更	—	—	—	—					
		代替サービス	—	—	—	—					
		統廃合	—	—	—	—					
		複合化	—	—	—	—					
	広域化	—	—	—	—						
民生導入	公共性が高く、管理主体となる受け皿等がないため、民間活力の導入は困難である。										

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	2,551	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。施設更新時には、利用状況を踏まえて必要性を検証する。								

リストNo	04-060	施設コード	05633
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	横尾歌舞伎伝承館 開明座(旧東四村農村コミュニティセンター)		
所在(町名・番地)	浜名区引佐町横尾899-1		
利用者の圏域別分類等	コミュニティ	非中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	その他
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆
	施設	浜名区・北行政センター	課長名 堤 信弘
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	横尾歌舞伎伝承館「開明座」は静岡県指定無形民俗文化財「横尾歌舞伎」の保存・伝承・公開のための施設である。また、「横尾歌舞伎資料館」は江戸時代以来の台本・衣装・かつらなどが保存され、希望者に公開している。なお、「開明座」は自治会集会所としても利用されている。		
主な利用者	横尾歌舞伎保存会、東四村地区住民、一般市民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	693.91	土地情報
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1999/3/31	
	経過年数(主要建物)	25	
用途地域		市街化調整区域	
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)
	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	・令和3年の資産経営会議において事業財産とすることが承認された。 ・無償貸付契約により、施設管理は東四村自治会が行っている。		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4	0	0
	収入計(A)	4	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		-4	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		4,449	4,449	4,449
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	4,191	2,333	1,620
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	2,081	53,556	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
	04-057	浜松市地域遺産センター	地域
その他の分類	16-010	引佐学校給食センター	地域
	05-018	引佐総合体育館	地域
	15-135	引佐南部中学校	生活
	14-073	引佐第1分団横尾	コミュニティ
	01-019	引佐支所	地域
	03-014	引佐多目的研修センター	地域
	06-013	引佐図書館	地域
	08-019	引佐保育園	生活



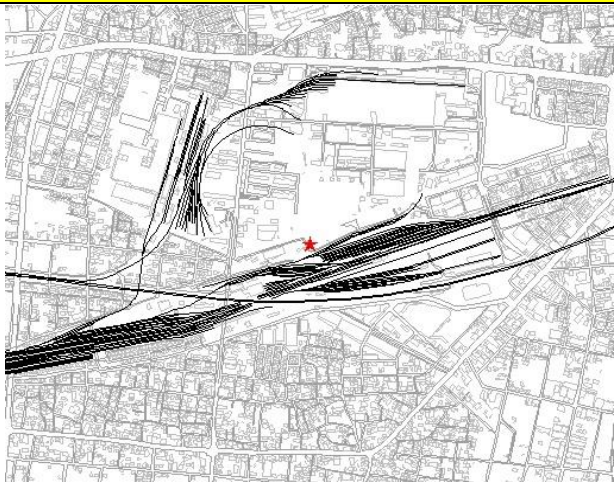
基本情報	リストNo	04-060	施設コード	05633	所管課	本庁	市民部文化財課		
	施設名	横尾歌舞伎伝承館 開明座 (旧東四村農村コミュニティセンター)				施設	浜名区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用、市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲) 横尾歌舞伎伝承館「開明座」は静岡県指定無形民俗文化財「横尾歌舞伎」の保存・伝承・公開のための施設である。また、「横尾歌舞伎資料館」は江戸時代以来の台本・衣装・かつらなどが保存され、希望者に公開している。なお、「開明座」は自治会集会所としても利用されている。							
		主な業務内容	横尾歌舞伎伝承活動(稽古・公演)、歌舞伎関連資料の保存・公開、集会所						
		主な利用者	横尾歌舞伎保存会、東四村地区住民、一般市民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	横尾歌舞伎の定期公演は毎年満席である。また、外部出演の依頼も多く、稽古、衣装整備等の伝承活動は常に行われている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	県指定無形民俗文化財「横尾歌舞伎」の伝承・保存施設として一定の利用が見込まれる。						
	特記事項	200年以上にわたり伝承されてきた民俗芸能を後世に継承していくために重要な施設と考えられる。							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
2021						—	—	—	
事業②		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
	2022				—	—	—		
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成30年から空調設備の故障が度々発生し、部品も供給停止となったことから、令和6年度に更新工事を実施した。建築後20年以上経過しており、今後大規模な修繕箇所が出てくる可能性がある。							
	対応策	計画的な改修を実施し、適正な維持管理を目指す。修繕費については、自治会集会所としての利用形態を踏まえ、市と自治会との費用負担が明確になるよう協議する。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-6	0	0	1人当たりのコスト(円)	-1	0	0
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性 他の類似施設の運営手法の整合性や地域の実情を十分に考慮した上で、利用者や利用団体などの理解を得ながら利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性 これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
文化財の伝承・保存施設として適正な維持管理に努める。								

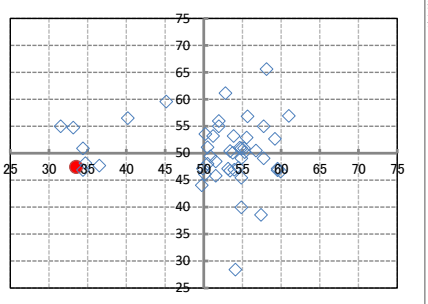
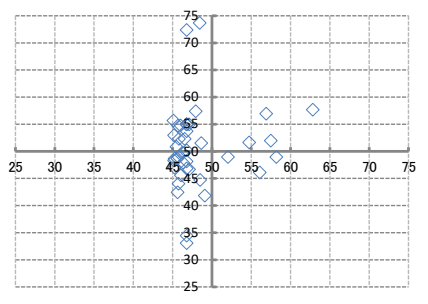
リストNo		04-061	施設コード		00195	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		伊場遺跡				
所在(町名・番地)		中央区東若林町378-2				
利用者の圏域別分類等		文化財		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	市民部博物館			課長名	鈴木 一有
	施設	市民部博物館			課長名	鈴木 一有
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		伊場遺跡を保存し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため。				
主な利用者		市民・観光客				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	130.24		土地情報	土地面積	24,910.40
	構造(主要建物)	木造			うち所有面積	24,910.40
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—				
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	1976/10/9				
	経過年数(主要建物)	47			うち借地面積	0.00
				代表地目(現況地目)	公園	
用途地域		工業地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	14	12	0
	収入計（A）	14	12	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	2,526	2,662	0
	維持補修費（修繕費）	1,367	1,848	0
	物件費（光熱水費）	272	293	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	4,165	4,803	0
行政コスト（B－A）		4,151	4,791	0
収支前年比		86.64	—	—
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	1,008,079	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	04-013	賀茂真淵記念館	地域	0.9		
	04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.8		
	04-014	浜松復興記念館	地域	2.0		
その他の分類	14-063	浜松第41分団	コミュニティ	0.8		
	01-032	可美市民サービスセンター	生活	0.8		
	06-003	西図書館	地域	0.8		
	26-004	西ポンプ場	—	0.8		
	03-028	県居協働センター	生活	0.8		
	14-003	南消防署	地域	0.9		
	14-004	消防車両整備工場	地域	0.9		
	07-004	かものこ放課後児童会	生活	1.0		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-061	施設コード	00195	所管課	本庁	市民部博物館
	施設名	伊場遺跡			施設	市民部博物館	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		伊場遺跡を保存し、教育、学術及び文化の発展に寄与するため。					
		主な業務内容	弥生時代の三重環濠の一部や大溝(自然河川)の一部の保存、奈良平安時代の建物跡の展示				
		主な利用者	市民・観光客				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の見学者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も多くの利用が予想される。				
	特記事項	文化遺産継承に必要不可欠な遺跡公園					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和50年代に整備された後には大きな変更がなく、全体的に老朽化している。					
	対応策	環濠や大溝、建物跡等について、必要な修繕を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	31,872	36,786	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
								
参考	利用者の圏域毎の方向性	登録有形文化財の建造物や遺跡については、民営化や統廃合などの対象にそぐわないことから非対象施設として、文化財保存の観点から適正な管理や維持を行います。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
文化財の伝承・保存施設として適正な維持管理に努める。								